

様式第5号 自動火災報知設備の概要表記載要領

- | | | |
|---|-------|--|
| ① | 感 知 器 | <ul style="list-style-type: none">・機種、型式番号及び製造会社名を記入する・保持する機能（蓄積機能、自動試験機能及び遠隔試験機能）に○印を付ける。・種別及び設置個数を記入する。 |
| ② | 発 信 機 | <ul style="list-style-type: none">・屋内型及び屋外型の区分毎で型式（P型）及び級別（1級・2級）並びに個数、型式番号、製造会社名を記入する。 |
| ③ | 表 示 灯 | <ul style="list-style-type: none">・電圧及び個数を記入する。 |
| ④ | 中 継 器 | <ul style="list-style-type: none">・中継器の種別を選択し、（ ）内に型式番号を記入する。・種別ごとに回線数を記入する。・種別ごとに電源供給方式を選択する。・「専用」を選択した場合、予備電源の電圧及び容量を記入する。・設置台数及び製造会社名を記入する。 |

様式第5-2号 自動火災報知設備の概要表（その2）記載要領

- | | | |
|---|-----------|--|
| ① | 受 信 機 | <ul style="list-style-type: none">・機能及び型式を選択し、予備電源、設置場所、型式番号及び製造会社名を記入する。 |
| ② | 表 示 器 | <ul style="list-style-type: none">・回線数（使用回線数/全回線数）、台数、自動火災報知設備点数、その他の使用点数及び予備点数を記入する。・設置場所の階及び室名を記入する。 |
| ③ | 常 用 電 源 | <ul style="list-style-type: none">・AC・DCの区分により、該当するものを選択する。・ACを選択した場合、電圧を記入し、電源回路について該当するものを選択する。・DCを選択した場合、容量を記入し、充電方式及び使用別について該当するものを選択する。 |
| ④ | 非 常 電 源 | <ul style="list-style-type: none">・該当する設備を選択する。・非常電源専用受電設備を選択した場合、電圧を記入する。・蓄電池設備を選択した場合、電圧及び容量を記入し、該当する充電方式及び使用別を選択する。 |
| ⑤ | 音 響 装 置 | <ul style="list-style-type: none">・該当する方式を選択する。・ベルを選択した場合、主音響装置及び地区音響装置の鐘径、定格を記入する。 |
| ⑥ | 配 線 | <ul style="list-style-type: none">・該当する回路の施工方式を選択する。 |
| ⑦ | 関 連 設 備 | <ul style="list-style-type: none">・関連する設備を選択する。・消火設備を選択した場合、（ ）内に該当する消火設備名を記入する。 |
| ⑧ | 工 事 者 区 分 | <ul style="list-style-type: none">・工事区分別に工事会社名及び連絡先を記入する。 |
| ⑨ | そ の 他 | <ul style="list-style-type: none">・耐火電線等に接続部が生じる場合、該当する工法名を記入する。詳細については4.(2)⑨による。 |

様式第5-3号 自動火災報知設備の概要表（その3）記載要領

- | | |
|----------------------|--|
| ① 階別又は部分名 | ・設置する階別又は部分の名称を記入する。 |
| ② 警戒区域数 | ・階別又は部分ごとに警戒区域の数を記入する。 |
| ③ 警戒区域の最大面積及び最大長辺の長さ | ・警戒区域の面積が最大となる区域の面積を上段に、警戒区域の長さが最大となる区域の長辺の長さを下段に記入する。 |
| ④ 取付面の高さ最大値 | ・感知器の取付面が最も高くなる部分の高さを記入する。 |
| ⑤ 感知器の個数 | ・該当する感知器の設置個数を記入する。 |
| ⑥ 感知区域数 | ・感知区域の数を記入する。 |
| ⑦ 感知区域の最大面積 | ・感知器の感知区域の面積が最大となる部分の面積を記入する。 |
| ⑧ 感知器を設置しない部分の有無 | ・該当する項目を選択する。
・有を選択した場合、その理由をその他欄に記入する。 |
| ⑨ 小屋裏、天井裏設備の要否 | ・該当する項目を選択する。 |

自動火災報知設備の概要表（その2）

様式第5-2号

① 受信機	蓄積式・二信号式・アナログ式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・その他()				
	P・GP型 1級 20/40 回線 R・GR型 自火報点数 点 その他()点数 点 予備点数 点				
	予備電源(DC 24 V 1.2 AH)		設置場所 1 階 防災センター 室		
型式番号 受第 〇〇~〇〇 号		製造会社名 〇〇〇株式会社			
② 表示器	36/40 回線 1 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点			設置場所 地階 事務室	
	/ 回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点			設置場所 階 室	
電 源	③ 常用電源	单相・三相AC 100 V 非常電源専用受電設備回路・電灯回路・動力回路			
		DC V AH 充電方式(トリクル・浮動) 使用別(専用・共用())			
源	④ 非常電源	非常電源専用受電設備 单相・三相 AC V			
		蓄電池設備 DC 24 V 1.2 AH 充電方式(トリクル・浮動) 使用別(専用・共用())			
音 響 装 置	⑤ 主音響装置 <small>(内蔵されているものは除く)</small>	ベル・サイレン・電子ブザー・音声合成・その他()			
		鐘径 mm	定格DC V mA 個		
		型式番号()号	製造会社名		
	地区音響装置	型式番号()号 認定番号()号		製造会社名	
		ベル・サイレン・電子ブザー・スピーカー・その他()			
		鐘径 mm	定格DC V mA 個	鳴動方式(一斉・区分)	タイマー方式(分)
音 声 切 替 装 置	音声切替装置	型式番号()号 DC V		製造会社名	
		常用電源 单相 AC V	非常電源専用受電設備回路・電灯回路		
		非常電源 蓄電池設備 DC V AH	充電方式(トリクル・浮動)		
配 線	⑥ 常用電源回路	ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他()			
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他()			
	警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他(HPケーブル)			
	その他の回路	I V 電線・ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他(ケーブル工事)			
⑦ 関 連 設 備	消火設備()・火災通報装置・誘導灯信号装置				
	非常警報設備・放送設備・その他()				
⑧ 工 事 者 区 分	電源工事	〇〇〇株式会社		TEL:(〇〇〇)-〇〇〇-〇〇〇〇	
	配線工事	同上		TEL:	
	配線工事			TEL:	
	配線工事			TEL:	
	機器の取付け工事	△△△株式会社		TEL:(△△△)-△△△-△△△△	
⑨ そ の 他	耐熱電線・・・テープ巻式単心分岐接続				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。
 3 感知器記入欄の()内は、その機能又は性能を記入すること。
 4 関連設備の消火設備()内は、その設備等の種類を記入すること。

自動火災報知設備の概要表（その3）

様式第5-3号

① 階別 又は部分 名	② 警 戒 区 域 数	③ 警 戒 区 域 の 最 大 長 辺 の 最 大 面 積	④ 取 付 面 の 高 さ 最 大 値	⑤ 感 知 器 の 個 数											⑥ 感 知 区 域 数	⑦ 感 知 区 域 の 最 大 面 積 (㎡)	⑧ 感 知 器 を 設 置 し な い 部 分 の 有 無	⑨ 小 屋 裏 、 天 井 裏 の 要 否	
				差動式		補償式 スポット 型	定温式		煙 式		炎 信 号	アナログ							複 合 式
				ス ポ ッ ト 型	分 布 型		ス ポ ッ ト 型	感 知 線 型	ス ポ ッ ト 型	分 離 型		熱 ス ポ ッ ト 式	煙						
													ス ポ ッ ト 式	分 離 式					
B1階	2	445 30	5	22			10		5						37	80	有・無	要・否	
1階	3	491 30	5	22			4		4						30	70	有・無	要・否	
2階	3	482 30	4	22			4		4						30	70	有・無	要・否	
3階	3	482 30	4	22			4		4						30	70	有・無	要・否	
4階	3	482 30	4	22			4		4						30	70	有・無	要・否	
5階	3	482 30	4	22			4		4						30	70	有・無	要・否	
PH階	1	45 8	3	2					1						3	20	有・無	要・否	
階段階	1	40 8							3						3	18	有・無	要・否	
EV階	1	40 8							3						3	18	有・無	要・否	
階																	有・無	要・否	
階																	有・無	要・否	
階																	有・無	要・否	
その他																			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。